

ビジネス科の生徒が経営学を学ぶ！！

現代経営学の父 ドラッカーの教え 高中生に

高山の住民ら先月団体設立

もし飛騨の高中生たちがドラッカーの「マネジメント」を身近な人から学べたら。現代経営学の父とされるピーター・ドラッカー（1909～2005年）の教えを地元を広めようと、高山市の住民らが一般社団法人「ひだマネジメントアカデミア」を1月に設立した。来春以降、若者らを対象にした講座などを展開し、地域の未来の担い手を育てていく。

「チームワークが苦手な 宮町の「富士コンクリート社員はどう巻き込んでいま 工業」の工場を訪れた飛騨すか」「時間管理で気を付 高山高校の生徒は、ドラッ



地域の企業を訪問し経営の現場を学ぶ飛騨高山高の生徒ら＝高山市一之宮町で

（北川鈴乃）

場でのように生きているかを吸収しようと努めた。団体は、NPO法人ドラッカー学会（東京）の理事も務める武田晃彦代表（60）＝同市石浦町、メンタルトレーナーの津田尚幸さん（53）＝同市緑ヶ丘町、強みを見つめる「ストレングスデザイナー」の資格をもつ後藤裕美子さん（51）＝福井市が中心になって設立した。

ウェブページ制作のサラニ（高山市岡本町）を営営する武田さんは12年前にドラッカーの著書に出会い、読書会を開くための講座を



ドラッカーの著書を手にしたマネジメントを教える武田さん＝高山市の飛騨高山高で

来春以降講座開設 地域の担い手を育成

受講。8年ほど前から飛騨地域を中心に社会人向けの読書会を毎月開き、これまで50人ほどに教える中で「もっと若いうちから知りたかった」という声に触れてきた。

子どもたちに教えるきっかけは、参加した同高の片野宏昭教諭（54）の提案だった。「子どもに分かるだろうか」と半信半疑ながら、昨年からは武田さんらが同高の生徒とドラッカーの著書「経営者の条件」の読書会を開始。1章ずつ読み解き、自分の強みを知って世の中に貢献する大切さなどを伝授すると、生徒の理解の早さに驚いた。1年の水口侑香さんも「この本に出会って時間の使い方がうまくなった」。同高以外にも対象を広げようと、団体設立に動いた。

「成長産業がない飛騨では、イノベーションを起ささない限り賃金が上がらない。でもその起し方は学校で教えてくれない」と武田さん。「この活動を広めて、大好きな飛騨を発展させたい」と話す。

今後は複数の学校と協力し、同様の読書会や、強みを分析するワークショップなどを計画していくといい。「ゆくゆくは、子どもと大人が一緒に学ぶスタイルを現実したい」と構想を膨らませている。